



町長回誌 No.121

町長日誌の第121号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

11月24日(日) AM11:30

先程、沙留保育所で行われました「おゆうぎ会」に出席して、6日ぶりに町長室にいます。先週18日(月)臨時議会などを終えて、夕方に女満別空港から上京して、昨日(23日)帰ってきました。例年、今の時期は全国町村長大会を始め、水道や防災・漁港・国保等の各種事業を推進するための全国組織の大会や予算要望活動が行われます。役員をされている首長さんは、11月のうち半月ぐらいは東京出張との事です。私も当選3回となり、今年から「北海道酪農町村長会議」と「北海道公社畜産事業推進協議会」の会長を拝命しましたので、19日(火)には他の首長さんたちと北海道選出の国会議員さんや農林水産省の幹部の皆さんに対して、12月に決まる予定の加工原料乳の補給金の引き上げと草地や畜産施設などの基盤整備事業費の確保と、今年で終了となる酪農ヘルパー支援事業の充実継続等について、膝詰め北海道の状況を説明して予算の確保を要望してきました。この様に、首長も任期が進むにつれ、自分の町だけでなく管内や全道、さらには全国の町村のための仕事をする役目を受けるようになります。因みに私は、前段の2つの役職のほかに管内町村会の副会長、北海道医療対策協議会や北海道道路整備促進期成同盟の役員などにもなっています。東京で、朝夕の電車のラッシュに揉まれながら様々な大会や研修会に出席し、少々疲れ気味でしたが、今朝、保育所の子供たちの可愛らしい笑顔を見ると、すっかり疲れも吹っ飛んだ気がしています。沙留保育所の皆さんどうもありがとうございました。

10月25日(金)

第2回の自治会長会議が開催され町内の課題について意見交換させて頂きました。特に議論となったのは、懸案となっていました「除雪」についてです。現在、高齢者で玄関前の除雪が出来ない方への支援を社協事業として行っていますが、近年担い手が不足気味で自治会も人の確保に苦勞されています。これについてはすでにお知らせもしていますが、除雪の仕方が約束の基準を超え、サービス過剰になっているケースも多いため、今年を対象基準を再確認して実施します。その上で、対象者とボランティアのバランスが取れなければ来年度、町の責任で見直すことにしました。また、町道除雪ではねた雪の塊が戸口をふさいでしまう問題も、近頃濡れ雪が多く時間と共に凍る場合が多いため「何とかならないか？」と要望されていました。これも26年度の冬から、まずは興部市街で試験実施することにしました。どの様にするのか？と言いますと、除雪車が走った後を、ミニタイヤショベルなどで戸口の部分を排雪する方法です。今年は、降雪が遅いようですが、昨年度は降雪日が多かったため例年の2倍の除雪費が掛ってしまいました。できるだけ少ない費用で冬を乗り越えたいと思いますので、皆様のご協力と隣近所の助け合をお願いいたします。

11月11日(月)

午後2時から風力発電の会計検査が行われました。本町の風車はすでに発電モーターが取り除かれ教育的施設として保存しています。普通は、事業開始後数年で会計検査が行われるものなのですが、10年以上、しかも廃止施設への検査とあって私たちも緊張しましたが、実際には、現在国が進めている再生エネルギーへの補助事業の調査(勉強)と、今まで補助事業を行ってきました経済産業省の外郭団体NEDO(ネド)の調査の一環であったようで、本町の風力発電のデータを見た検査員からは発電実績があまりにも低いので「廃止して良かったですね！」という話もあったようです。

今年もNHKホールで全国町村長大会が開催され安倍総理が祝辞を述べられました。ほとんどがアベノミクスの効果のお話で、TPPや秘密保護法などの話は一切ありませんでした。今の国会で国の将来を左右する重要な事が決められようとしています。皆でしっかりと注目していきましょう！昨年は、11月2日に大きな雪が降りましたが、今年は未だのようです。空気が乾燥していますので風邪と火災にお気を付け下さい。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。